

# ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会  
ロシア東欧経済研究所

東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551)6215~9  
購読料 送料共前納 ・ 1ヵ月 1,200円 1ヵ年 14,000円

平成6年9月5日

No. 965

## 1994年1~6月のロシア経済

### はじめに

ロシア統計国家委員会の刊行する資料（『1994年1~6月ロシアの社会・経済情勢』）により、同国の1994年上半期の経済実績が明らかになったので、本号ではこれにもとづいてロシア経済の基本動向を紹介する。

統計委員会のデータによれば、1994年もロシア経済は相変わらず大幅な下落を続けており、上半期の国内総生産は前年同期比17%低下した。第1四半期も同じ17%の低下であったことから、公式統計上は今年に入ってからほぼ同じ趨勢で低迷を続けているということになる。

1994年1~6月のロシアの国内総生産（GDP）は245兆ルーブルで、実質ベースで前年同期比17%低下した。民営化の推進、起業家の増大により、GDPに占める非国营企業による付加価値の割合が58%に達している。また、GDPに占める商品生産のシェアが42.5%に低下し、サービスのシェアが50.5%に高まった。

1994年1~5月の連結財政の歳入は48.0兆ルーブル、歳出は59.0兆ルーブルで、GDPの8.8%にあたる16.7兆ルーブルの財政赤字を記録した。うち、連邦財政の歳入は24.2兆ルーブル、歳出は35.9兆ルーブルで、財政赤字はGDPの9.2%にあたる17.4兆ルーブルであった。

1~6月の国民の貨幣所得は129.1兆ルーブルで、名目では前年同期の7.3倍であっ